

2 多摩山村部

2-1 土地利用面積

「多摩山村部約33,060haのうち、
森林が約31,420ha」

多摩山村部の全域・町村別の土地利用分類ごとの面

積を表2-1に示す。なお、町村の面積はポリゴン集計によって求めたもので、一般に使用されている行政面積とは必ずしも一致しない。

多摩山村部の面積は約33,060haであり、そのうち森林面積は約31,420haである。

また、宅地は約270haであり、平成14年と比較して約2ha増加している。

平成19年土地利用面積（多摩山村部全域・町村別）（表2-1）

単位 (ha)

項目 地域	A		B		C	D	E		F	G	H	I
	合計	宅地	その他	(屋外 利用地)	公園、 運動場等	未利用地 等	道路等	(道路)	農用地	水面・河川・ 水路	森林	原野
全域 (H19)	33,061.9	272.5	203.5	(38.1)	25.2	18.3	222.1	(213.0)	259.1	550.8	31,416.6	93.9
全域 (H14)	33,109.8	270.8	159.6	(34.4)	23.3	18.1	216.5	(207.5)	261.5	551.7	31,513.1	95.2
檜原村	10,533.8	95.9	40.3	(10.8)	4.2	6.5	76.5	(75.6)	161.0	50.9	10,034.5	64.0
奥多摩町	22,528.1	176.5	163.3	(27.3)	21.1	11.8	145.6	(137.4)	98.1	499.9	21,382.1	29.8

(注1) Bその他は、土地利用分類の屋外利用地とその他の合計

(注2) B、Eの()は内数

2-2 土地利用比率

「森林が約95%を占める」

(全域)

多摩山村部における土地利用分類ごとの全土地利用面積に対する構成比を見ると、森林が95.0%とその大部分を占めており、宅地や農用地はそれぞれ0.8%にすぎない。

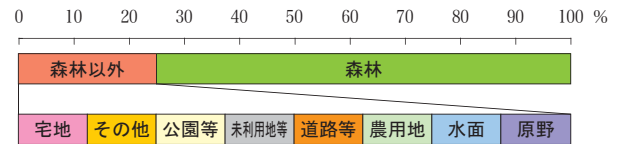
平成14年と比較すると森林が0.2ポイント減少している。

(町村別)

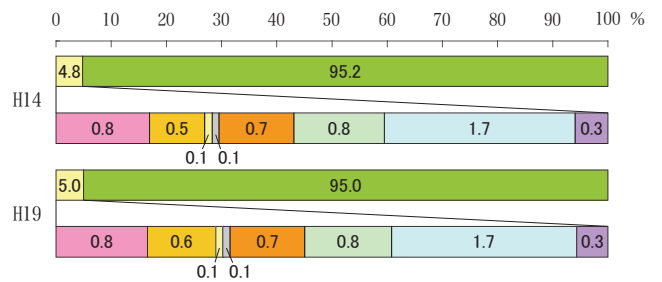
檜原村、奥多摩町の森林はそれぞれ95.3%、94.9%を占め、宅地はそれぞれ0.9%、0.8%である。

農用地は檜原村が1.5%に対して、奥多摩町が0.4%となっている。

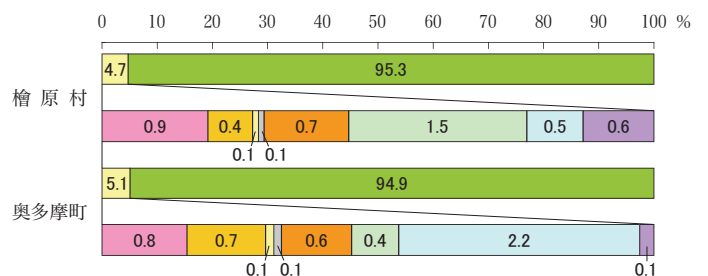
水面は檜原村が0.5%に対して奥多摩町が2.2%となっている。



土地利用比率（森林とそれ以外）（多摩山村部全域）



平成19年土地利用比率（森林とそれ以外）（多摩山村部町村別）



2-3 宅地利利用率

「住宅用地が約63%」

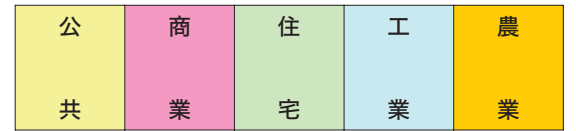
(全域)

多摩山村部の宅地のみを対象とし、建物用途別に宅地を5分類して、その構成比を見ると、住宅用地が62.7%を占め、以下公共用地16.8%、商業用地12.6%、工業用地6.9%、農業用地1.1%の順になっている。

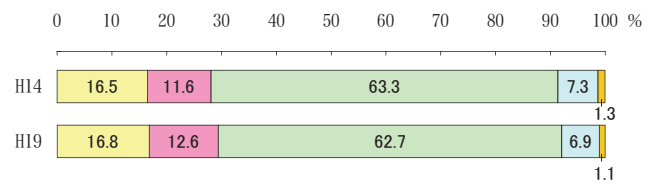
平成14年と比較すると、商業用地が1.0ポイント増加し、住宅用地が0.6ポイント減少している。

(町村別)

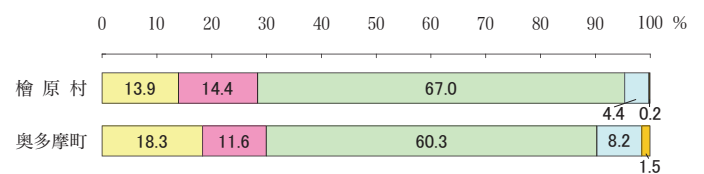
檜原村では住宅用地、商業用地が若干多く、奥多摩町では公共用地、工業用地が若干多い。



宅地利利用率 (多摩山村部全域)



平成19年宅地利利用率 (多摩山村部町村別)



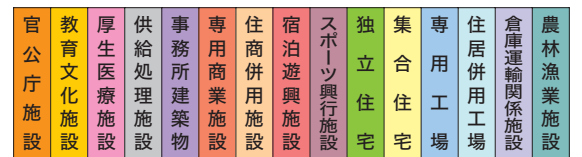
2-4 建物用地利用率

「独立住宅用地が約6割」

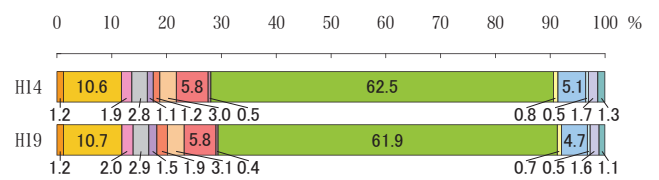
(全域)

宅地の用地利用状況を建物用途別に15分類して、その構成比を見ると、独立住宅が61.9%を占め、以下教育文化施設が10.7%、宿泊遊興施設が5.8%と続いている。

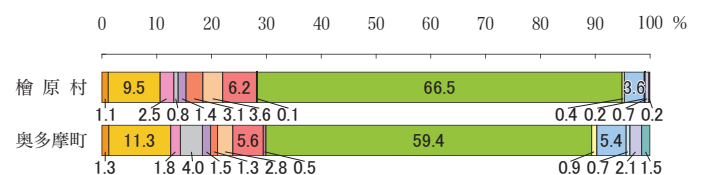
平成14年と比較すると、専用商業施設が0.7ポイント、事務所建築物が0.4ポイント増加し、独立住宅が0.6ポイント、専用工場が0.4ポイント減少している。



建物用地利用率 (多摩山村部全域)



平成19年建物用地利用率 (多摩山村部町村別)

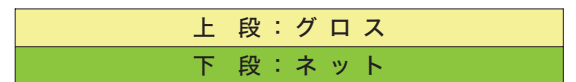


2-5 建ぺい率

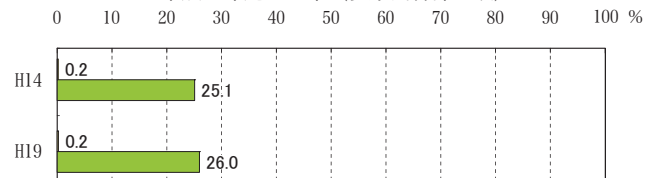
「建築面積は敷地の約26%」

(全域)

全建物についての建ぺい率はネットで26.0%である。平成14年と比較すると0.9ポイント増加した。建物用途別にネットの建ぺい率を見ると、住居併用工場が39.7%で最も高く、厚生医療施設が37.5%、住商併用施設が34.9%、集合住宅が32.2%と続く。



平成19年建ぺい率 (多摩山村部全域)

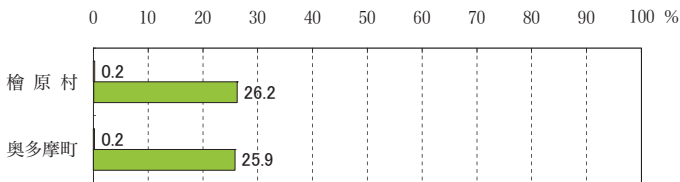


(町村別)

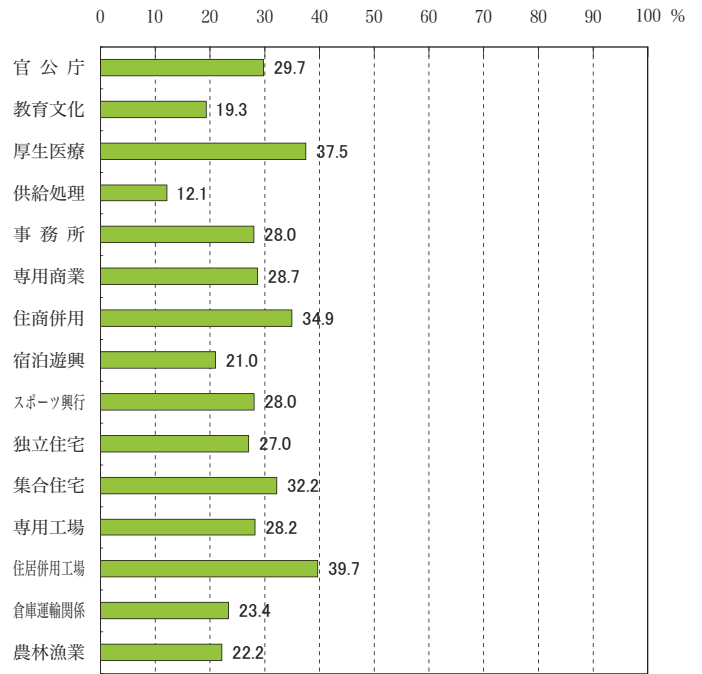
檜原村の建ぺい率はネットで26.2%、奥多摩町は25.9%となっている。



平成19年建ぺい率 (多摩山村部町村別)



平成19年建ぺい率 (多摩山村部建物用途別) (ネット)



2-6 容積率

「建物容積率はネットで約40%」

(全域)

全建物についての容積率は、ネットで40.0%であり、平成14年に比較して0.9ポイント増加している。

建物用途別にネットの容積率を見ると厚生医療施設

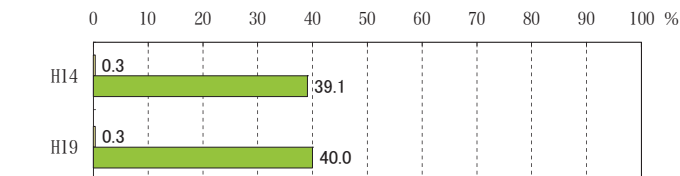
が84.3%と最も高く、集合住宅が70.7%、住居併用工場が61.7%、住商併用施設が57.5%、官公庁施設が57.4%と続く。

(町村別)

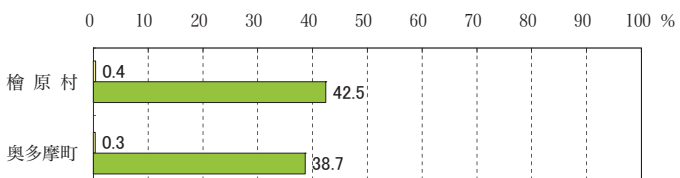
檜原村の容積率はネットで42.5%であり、奥多摩町の38.7%と比較して、やや高い値になっている。



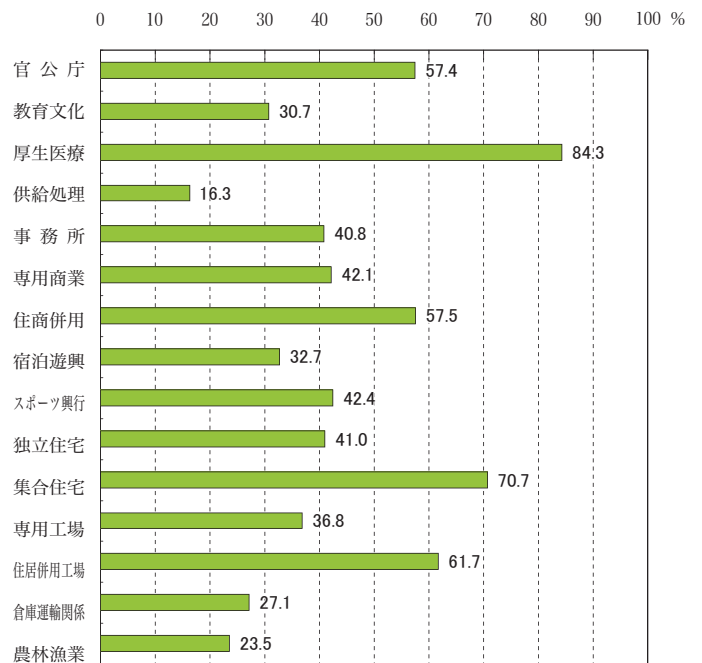
容積率 (多摩山村部全域)



容積率 (多摩山村部町村別)



平成19年容積率 (多摩山村部建物用途別) (ネット)



2-7 平均階数

「平均階数は1.5階で、ほぼ横ばい」

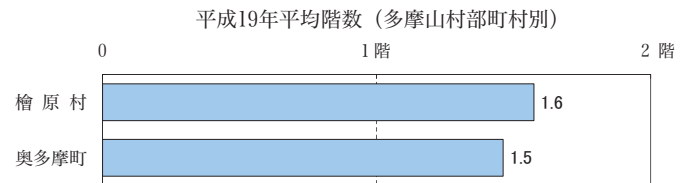
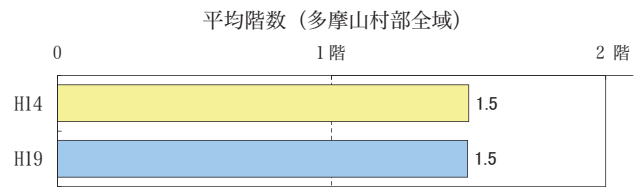
(全域)

建物の平均階数は平成14年と同じく1.5階である。

(町村別)

檜原村が1.6階で、奥多摩町の1.5階と比較してわずかに高い。

平成14年
平成19年



2-8 建築面積比率

「建築面積の約64%が独立住宅」

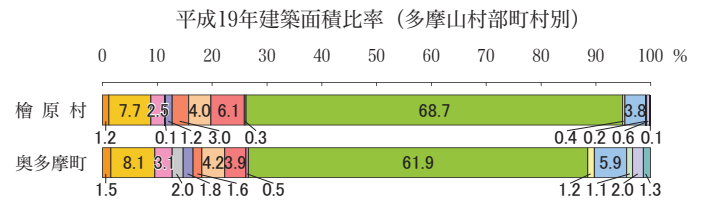
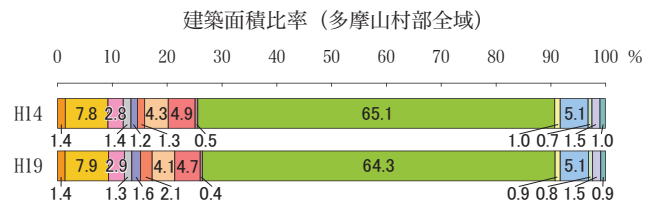
(全域)

建物の建築面積の総計を建物用途別に15分類し、その構成比を見ると独立住宅が64.3%と高く、これに対して集合住宅は0.9%にすぎない。平成14年と比較して、独立住宅が0.8ポイント減少している。

(町村別)

檜原村では独立住宅が68.7%であり、奥多摩町の61.9%に比較してやや高い値になっている。

官公庁施設	教育文化施設	厚生医療施設	供給処理施設	事務所建築物	専用商業施設	住商併用施設	宿泊遊興施設	スポーツ興行施設	独立住宅	集合住宅	専用工場	住居併用工場	倉庫運輸関係施設	農林漁業施設
-------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	----------	------	------	------	--------	----------	--------



2-9 延べ面積比率

「延べ面積の約63%が独立住宅」

(全域)

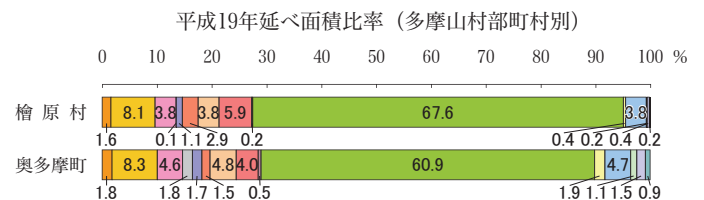
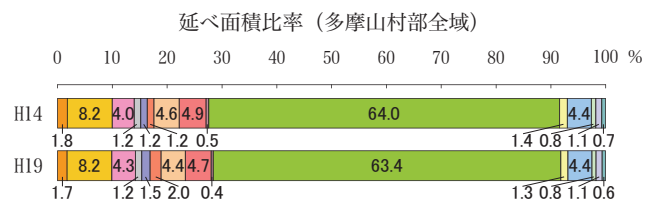
建物の延べ面積の総計を用途別に15分類し、その構成比を見ると独立住宅が63.4%と高く、これに対して集合住宅は1.3%にすぎない。

平成14年と比較すると、専用商業施設が0.8ポイント、厚生医療施設と事務所建築物が0.3ポイント増加し、独立住宅が0.6ポイント、住商併用施設と宿泊・遊興施設が0.2ポイント減少している。

(町村別)

檜原村では独立住宅、宿泊・遊興施設、専用商業施設の占める割合がやや高く、奥多摩町では住商併用施設、集合住宅、専用工場の占める割合がやや高い。

官公庁施設	教育文化施設	厚生医療施設	供給処理施設	事務所建築物	専用商業施設	住商併用施設	宿泊遊興施設	スポーツ興行施設	独立住宅	集合住宅	専用工場	住居併用工場	倉庫運輸関係施設	農林漁業施設
-------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	----------	------	------	------	--------	----------	--------



2-10 不燃化率

「建物の約20%が不燃化 (建築面積ベース)」

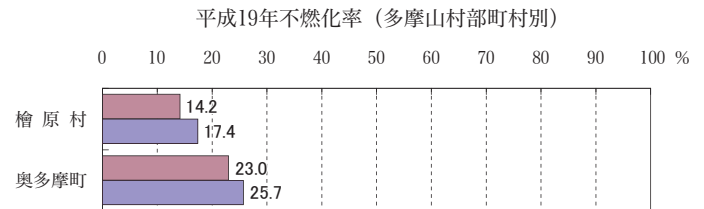
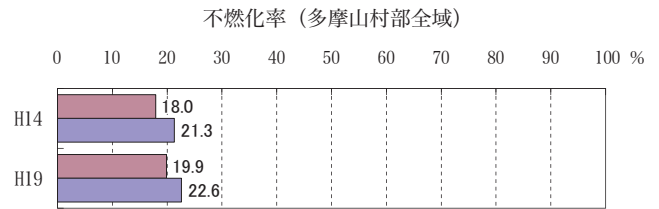
(全域)

全建物に対する耐火造及び準耐火造建築物の占める割合を建築面積ベースで見ると、不燃化率は19.9%となっており、平成14年と比較すると1.9ポイント上がっている。

また、不燃化率を延べ面積ベースで見ると22.6%であり、平成14年と比較すると1.3ポイント上がっている。

(町村別)

奥多摩町の不燃化率を建築面積ベースで見ると23.0%、延べ面積ベースで見ると25.7%で檜原村に比較して高い。



2-11 建物構造比率

「木造が約52%で最も多い (建築面積ベース)」

(全域)

全建物についての構造別の構成比を建築面積ベースで見ると木造が51.8%で最も高く、以下、防火造28.3%、準耐火造10.8%、耐火造9.1%の順になっている。

平成14年と比較して、準耐火造が2.3ポイント、防火造が1.9ポイント増加する一方、木造が3.9ポイント、耐火造が0.3ポイント減少している。

また、延べ面積ベースで見ると木造の比率は48.0%であり、平成14年に比較して3.3ポイント減少している。

(町村別)

檜原村では木造の占める割合が比較的高く、建築面積ベース、延べ面積ベースともに6割以上となっている。

